

輝き

団塊世代のスキンケアは“ツヤ”が決め手！

2015年12月

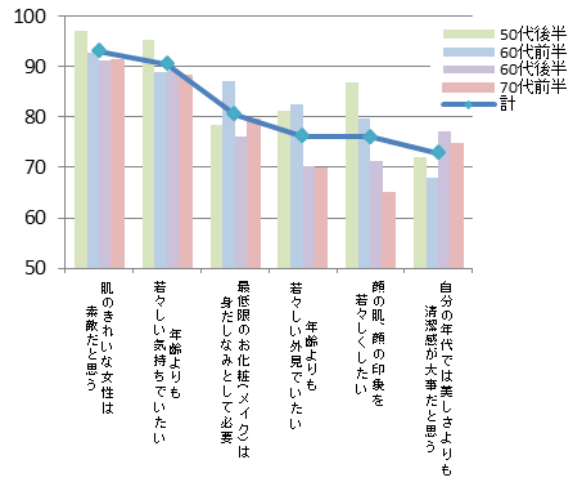
株式会社カネボウ化粧品

日本では、人口のボリュームゾーンである団塊世代が60代半ばを迎えています。国立社会保障・人口問題研究所の推計では、2015年には、日本の高齢者比率（人口に占める65才以上の割合）は26.8%に及びとされ、4人に1人以上が高齢者となっています。とはいえ、昨今のこの世代はアクティブで健康的。2015年6月に開催された日本老年学会総会のシンポジウムでも、「65歳以上の高齢者の知的機能や健康レベルは、10～20年前より5～10歳程度若返っていると想定される」との報告がありました。

年齢を重ねても社会とつながりながら自分らしく輝き続けるには、身だしなみが大切です。それを裏付けるように、カネボウ化粧品が50～70代前半女性を対象に行った調査※では、「肌のきれいな女性は素敵だと思う」「年齢よりも若々しい気持ちでいたい」という回答が約9割にのびりました。

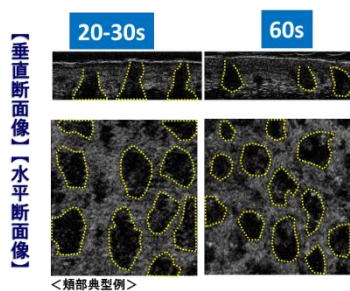
そこで今回は、特に60代以降の方の肌の特徴と簡単なお手入れのコツをご紹介します。

※カネボウ化粧品調べ（2014年）55～74才女性 n=420

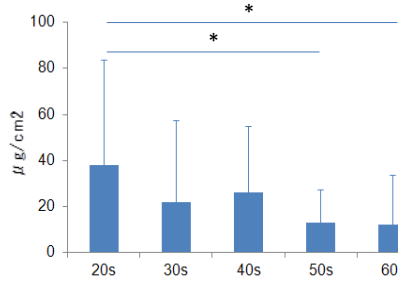


年齢を重ねた肌に足りないものは？

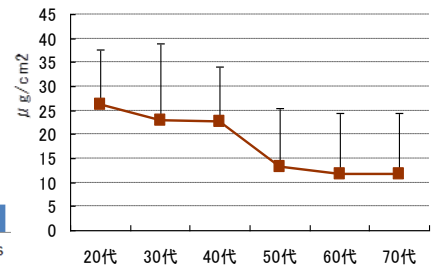
肌の表面は、皮脂膜でおおわれています。皮脂膜は、皮脂、汗、角化産物が混ざり合ってきた乳化物で、肌にツヤを与えたり皮膚の水分の蒸散を防いだり、外部からの物理的な刺激を緩和するなど保護膜の役割を果たしています。カネボウ化粧品の調査では、皮脂膜の主となる「皮脂」は、50代を超えた肌で減少していることがわかっています。「肌の乾燥を感じやすくなった」「肌になめらかさやツヤがなくなった」と感じるのは、この「皮脂の減少」が一因と考えられます。



①皮脂腺断面像
2012年調査



②平常皮脂量（額）
2012-13年調査 n=160



③回復皮脂量（頬）
2007年調査 n=264

※いずれもカネボウ化粧品調べ

超音波トモグラフィーという機器を用いて調べたところ、加齢により皮脂腺が委縮する傾向が画像で示されました

（①）。実際に肌の皮脂量（②）、回復皮脂量（③）皮脂をいったん取り去った後、一定の時間までに分泌される皮脂量を測定しても、40代を境に皮脂量は少なくなっています。

ポイントはツヤ！



ツヤのある肌

ツヤのない肌

※右はツヤを消す画像処理をしたイメージカット

左の画像は、同じ女性の肌のツヤのあるなしを比べたものです。日本語の「艶」という言葉は、“なめらかな表面にあらわれるうるおいのある光”というニュアンスで使われますが、肌にツヤがあると、うるおいやハリのある肌に見えます。「輝き世代」は皮脂が少なくなるため、肌のツヤが失われがち。そこで、肌にツヤ感をプ

ラスすることを目指して、お手入れを行っていきましょう！

輝き世代におすすめのお手入れ

1. おすすめアイテム ⇒ 乳液・クリーム

乳液やクリームは、スキンケアアイテムの中でも油分を多く含むアイテムです。油分を補うことにより、しっとりなめらかで、つややかな肌に整えます。両手でやさしく、顔全体にむらなくなじませましょう。

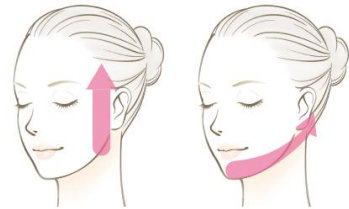
2. お手入れプラスワン ⇒ ①なじませながら、簡単マッサージ

乳液をなじませるときに、“マッサージ行為”を取り入れてみましょう。肌の表面を軽くなでたりさすったりして物理的に皮膚を動かす“マッサージ”には、血行をよくする効果があります。

簡単★ワイワイテクニック★

すべりをよくするために乳液などを使います。

手のひら全体で、あご下からこめかみに向かって2回、あご先から耳の後ろまで2回、軽くさすります。同じことを3回程度繰り返します。



お手入れプラスワン ⇒ ②ツヤ足し

乳液やクリームなどを顔全体になじませた後、さらに指先にとって、頬骨を中心にくるくるとなじませます。笑ったときに高くなる頬部分に、乳液やクリームの油分をプラスして、つややかな印象に！

